



# 人にやさしい まちづくり

## SUPPORT



さがらしい、やさしきの  
カタチ「さがすたいる」

2  
佐賀県医療的ケア医院  
支援センターの開設



交流センター”あいさが“が誕生しました。視覚障害などにより読書に困難を抱える方々への図書の貸出、ICTを活用したコミュニケーション支援や情報提供、コーディネーターによる相談支援、啓発事業、支援者・関係者の方々などの交流事業を行います。触れる絵本や大きな文字で書かれた拡大図書や録音図書も充実しています。

※骨髄移植または抹消血幹細胞移植によりドナーカラ患者へ造血幹細胞(血液細胞を造るものとなる細胞)を移植すること



視覚障害の方などの  
交流拠点”あいさが“が  
誕生しました

今年4月、佐賀県立視覚障害者情報・

## 4 骨髄等移植の円滑な実現を後押しします

「）希望の図書はお近くの公共図書館で受け取ることもできます。センターの利用登録はお電話でも受け付けますので、図書の利用や視覚に関するお困り「）など、お気軽に「）相談ください。

今後は、県の取組やイベントなどへも  
様々な当事者の方からアドバイスを  
受ける機会を増やし、当事者の視点を  
反映させていくことで、みんなが心地  
よく暮らせる佐賀県を目指します。

誰もが暮らしやすい環境づくりには段差の解消などハード面の整備とともに心(ハート)のバリアフリーが大切です。「さがすたいる」の想いに賛同する店舗などを専用サイトで紹介し、誰もが安心して街に出かけるための情報発信をするとともに、学校向けの出前講座やイベンントなどで障がいのある方と交流することで、心の壁をなくし、みんなが自然と支え合える関係づくりを行っています。

お年寄りや障がいのある方、子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく暮らせる、人にやさしいまちのスタイル「さがすたいる」を広める取組を行っています。

今年4月、県では、医療的ケア児の保護者や支援者向けの相談支援窓口として「佐賀県医療的ケア児支援センター」を開設しました。これは、昨年度、県が独自に開設した「佐賀県医療的ケア児在宅生活ホットライン」に個別訪問による相談機能を充実させたものです。また子どものケアを続けながら就労を希望される保護者のニーズを踏まえ、新たに配置した就園支援コーディネーターの働きかけによって、保育所や幼稚園における医療的ケア児を受け入れる環境づくりを進めています。

今後も子どもの成長と共に変化する保護者の想いやニーズにしつかり寄り添いながら支援に取り組んでいきます。

## 5 医療用補正具の助成をします

がんは、医療技術の進歩により、早期発見、早期治療で9割以上が治る病気になつたと言われていますが、抗がん剤の副作用による脱毛や手術による乳房切除など、がん治療による外見の変化に悩まれている方がいらっしゃいます。

補助※<sup>3</sup>します。

がん患者の方の気持ちを少しでも和らげることができるよう、がんになつても安心して暮らすことができる環境づくりを進めていきます。

※1／脱毛時に一時的に着用するかつら

※2／パッドなどにより切除した乳房を補正する下着

※3／申請はお住いの市町担当課へお問い合わせください。

※3／申請はお住いの市町担当課へお問い合わせください。

お問い合わせ先

- ③【視覚障害者情報・交流センター】 障害福祉課 ☎0952-25-7401 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp  
佐賀県立視覚障害者情報・交流センター [URL](http://sagaten.sakura.ne.jp) http://sagaten.sakura.ne.jp
  - ④【骨髄等移植支援】 健康福祉政策課 ☎0952-25-7074 ✉kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp
  - ⑤【アピアランスケア支援】 健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp  
がんポータルさが [URL](https://ganportal-saga.jp/josei/appearance) https://ganportal-saga.jp/josei/appearance

